

三重県内経済情勢（平成 22 年 12 月の指標から）

県内経済は、足踏み状態にあるが、持ち直しの兆しもみられる（生産は持ち直しの動きがみられる。個人消費はおおむね横ばいとなっている。雇用情勢は依然として厳しい状況の中、改善の動きが弱まっている）。

1. 概況

（生産）

鉱工業生産指数は 2 か月連続で上昇した。【図 1】

（消費）

大型小売店販売額（既存店調整値）は前年同月を 2 か月ぶりに下回った。【図 2】

コンビニエンスストア販売額（富山、石川、岐阜、愛知、三重の 5 県）は 2 か月連続で前年同月比増となり、家電販売額（中部 8 県）は 7 か月ぶりに前年同月比減となった。

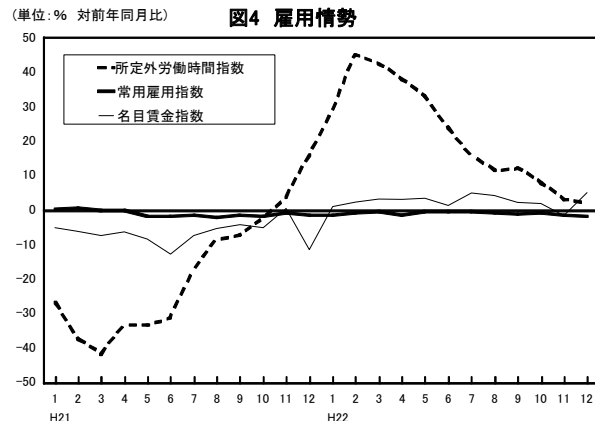
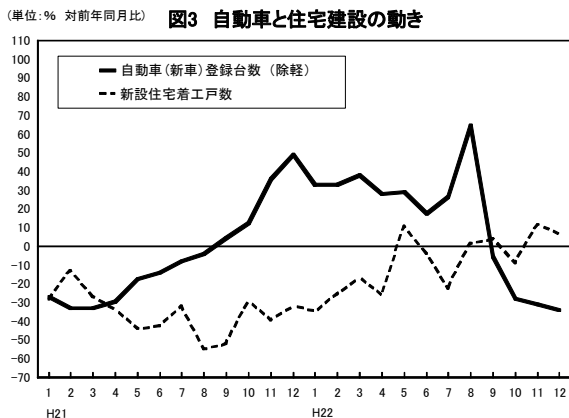
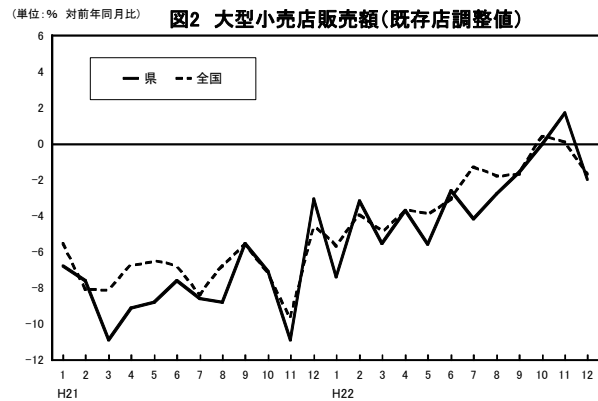
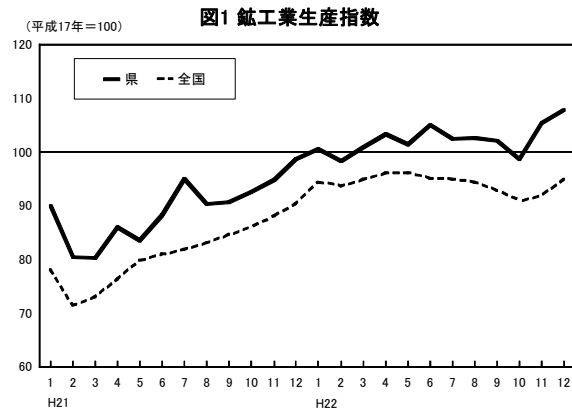
自動車（新車）登録台数（軽自動車を除く）は 4 か月連続で前年同月比減となり【図 3】、軽自動車販売台数は 3 か月連続で前年同月比減となった。

新設住宅着工戸数は 2 か月連続で前年同月比増となった。【図 3】

（雇用）

有効求人倍率は 0.61 倍となり、前月を 0.01 ポイント上回った。

所定外労働時間指数は 14 か月連続で前年同月比増、常用雇用指数は 22 か月連続で前年同月比減、名目賃金指数は 2 か月ぶりに前年同月比増となった。【図 4】



2. 主要経済指標の動き

(1) 生産活動

- ・ 鉱工業生産指数（H17=100）は 107.9 となり、前月比 2.3%増と 2 か月連続で上昇した。
- ・ 県内主要 3 業種では、電気機械工業（旧分類）（144.0）が前月比 4.0%増と 4 か月連続で上昇し、輸送機械工業（82.4）も前月比 2.6%増と 2 か月連続で上昇したものの、化学工業（87.1）は前月比 2.0%減と 2 か月連続で低下した。
- ・ 鉱工業生産者製品在庫指数（H17=100）は 110.2 で、前月比 7.1%増と 4 か月連続で上昇した。

（※電気機械工業（旧分類）は、日本標準産業分類（平成 14 年 3 月改定）の「電気機械工業」「情報通信機械工業」「電子部品・デバイス工業」をまとめたものです。）

	9月	10月	11月	12月
鉱工業生産指数	-0.5	-3.5	7.0	2.3
（電気機械工業：旧分類）	0.5	0.2	7.4	4.0
（輸送機械工業）	-4.4	-12.0	8.4	2.6
（化学工業）	1.9	10.1	-7.3	-2.0
鉱工業生産指数（全国）	-1.6	-2.0	1.0	3.3
鉱工業生産者製品在庫指数	1.0	2.2	5.4	7.1

(2) 個人消費

- ・ 県内の大型小売店販売額（既存店調整値）は、前年同月比 2.0%減と 2 か月ぶりに前年同月を下回った。
- ・ コンビニエンスストア販売額（富山、石川、岐阜、愛知、三重の 5 県）は 2 か月連続で前年同月比増となり、家電販売額（中部 8 県）は 7 か月ぶりに前年同月比減となった。
- ・ 自動車（新車）登録台数（軽自動車を除く）は前年同月比 34.1%減となり 4 か月連続で減少し、軽自動車販売台数も前年同月比 15.8%減となり 3 か月連続で減少した。全自動車では前年同月比 27.4%減と 4 か月連続で減少した。

（前年同月比：％）	9月	10月	11月	12月
大型小売店販売額（県内既存店）	-1.6	-0.0	1.7	-2.0
〃（全国既存店）	-1.7	0.4	0.1	-1.7
コンビニエンスストア販売額（5 県全店）	19.9	-4.5	2.8	5.6
家電販売額（8 県全店）	20.8	57.1	112.4	-24.6
自動車（新車）登録台数（県内）	-5.7	-27.9	-30.8	-34.1
〃（全国）	-4.1	-26.7	-30.7	-28.3
軽自動車（新車）販売台数（県内）	5.5	-18.7	-19.9	-15.8
〃（全国）	4.6	-16.2	-15.9	-11.4
自動車・軽自動車 合計（県内）	-1.7	-24.7	-26.9	-27.4
〃（全国）	-1.2	-23.2	-25.9	-22.7

(3) 住宅建設

- ・ 新設住宅着工戸数は 1,002 戸となり、前年同月比 6.3%増と 2 か月連続で増加した。

（前年同月比：％）	9月	10月	11月	12月
新設住宅着工戸数	4.4	-8.9	11.6	6.3
（参考）（持家）	17.5	8.7	18.6	14.5
（貸家）	-36.9	-41.3	-20.8	-5.0
（分譲住宅）	122.0	67.6	94.4	88.7

(4) 公共工事受注（1件500万円以上の工事：発注者別請負契約額）

- ・公共機関からの建設工事受注工事額は120億2千2百万円となり、前年同月比9.4%増と2か月連続で増加した。
- ・「国の機関」からの受注工事額は24億1千4百万円となり前年同月比56.1%減と3か月ぶりに減少し、「地方の機関」からの受注工事額は96億8百万円となり前年同月比75.1%増と2か月連続で増加した。

（前年同月比：％）	9月	10月	11月	12月
受注工事総数（県内）	14.4	-7.2	13.8	9.4
国の機関	-44.8	18.5	70.6	-56.1
地方の機関	81.4	-14.2	8.1	75.1
受注工事総数（全国）	-14.7	-22.9	3.7	-15.4

(5) 雇用情勢

- ・有効求人倍率は0.61倍となり、前月を0.01ポイント上回った。
- ・所定外労働時間指数は前年同月比1.9%増となり、14か月連続で上昇した。
- ・常用雇用指数は前年同月比1.9%減となり、22か月連続で低下した。
- ・名目賃金指数は前年同月比5.0%増となり、2か月ぶりに上昇した。
- ・完全失業率（全国値）は4.9%で、前月に比べ0.2ポイント低下した。

（※前年同月比：％）	9月	10月	11月	12月
有効求人倍率（三重県、倍）	0.62	0.60	0.60	0.61
"（全国、倍）	0.55	0.56	0.57	0.57
所定外労働時間指数※	12.0	7.6	3.1	1.9
常用雇用指数※	-1.2	-0.9	-1.5	-1.9
名目賃金指数※	2.2	1.8	-1.7	5.0
完全失業率（全国）	5.0	5.1	5.1	4.9
（参考）完全失業率（三重県：移行推計値）	4.2(7~9月期)			

(6) 企業倒産

- ・企業倒産は10件発生した。負債総額は17億6千8百万円（前年同月比71.6%増）となり、2か月ぶりに前年同月比増となった。

（※％：前年同月比）	9月	10月	11月	12月
企業倒産件数（件）	16	10	6	10
負債総額（％）※	-6.5	41.4	-55.5	71.6

(7) 消費者物価

- ・消費者物価指数（H17=100）は100.9で、前月比は0.2%下落、前年同月比では0.3%上昇した。

（前月比、※前年同月比：％）	9月	10月	11月	12月
消費者物価指数（4市平均）	0.1	0.4	-0.4	-0.2
" ※	-0.5	0.5	0.4	0.3
"（全国）	0.3	0.4	-0.3	-0.3

3. 景気動向指数 (CI 指数)

- 一致指数（景気の現状を示す指標）は 68.0 となり、前月と比較して 5.7 ポイント下降した。一致指数からみる県内経済の基調は、改善を示している。

DI 指数は、景気判断の分かれ目となる 50%ラインを 5 か月ぶりに下回り、42.9%となった。

(※前月差：ポイント)	9月	10月	11月	12月
CI一致指数 ※	0.5	-4.7	10.6	-5.7
3か月後方移動平均※	-0.2	-1.1	2.1	0.0
7か月後方移動平均※	0.2	-0.2	0.8	0.4
DI一致指数 (%)	57.1	57.1	92.9	42.9

- 先行指数（12月時点よりも半年程度先の景気を示す指標）は 83.9 となり、前月と比較して 3.6 ポイント下降した。

DI 指数は、景気判断の分かれ目となる 50%となった。

(※前月差：ポイント)	9月	10月	11月	12月
CI先行指数 ※	-6.8	-5.8	-4.2	-3.6
3か月後方移動平均※	4.5	0.8	-5.6	-4.5
7か月後方移動平均※	2.1	0.6	0.8	-0.2
DI先行指数 (%)	50.0	83.3	50.0	50.0

